

感染拡大防止に向けて（市長メッセージ）

3月28日、広島市において、県内で5、6例目の新型コロナウイルス感染症の患者の方が確認されました。また、福岡県において確認された21例目の患者の方が県立広島大学の卒業生であることが判明し、急ぎ感染ルートや行動歴、濃厚接触者等、疫学調査が進められています。

県はこのような状況を踏まえ、緊急的に開催した広島県新型インフルエンザ等対策専門家委員会会議の見解をもとに、先日、知事コメントを発表しました。

【知事コメント(抜粋)】

- 帰国者からの感染や感染経路が不明な事例が複数確認され、感染拡大の可能性が懸念されており、今後、1～2週間の皆様の行動が大きく影響いたしますので、県民や県内企業の皆様には、感染拡大防止の取り組みにご理解とご協力をお願いいたします。
- 日常生活においては、体調の悪い人、発熱、咳などの症状がある人は他者に感染を広げないよう外出を控えてください。
- 「換気の悪い密閉空間」、「大勢が集まる密集場所」、「近距離で会話や発声をする密接場面」の『3つの条件』が同時に重なる場で多くの人数と接触した人、重症化しやすい基礎疾患のある人は行動を自制してください。
- 現時点では、感染を完全に防ぐ手立てがないため、こまめな手洗い・咳エチケットの実施や室内の換気を行い、健康的な生活を心がけることが大切です。
- 県主催イベント等の開催については、感染ルートが不明な感染事例が複数確認されたことから、先日発表したとおり、当面の間、原則として、延期または中止することとしております。県内市町や事業者の皆様におかれましても、県の方針の趣旨をご理解いただいた上で、引き続きご協力をお願いいたします。

去る3月27日に、呉市主催のイベントについても、県の取扱いに準じて当面の間、延期または中止する方針を継続させていただく旨をお伝えしているところですが、重ねて市民の皆様、市内事業者の皆様には、ご協力をよろしくをお願いいたします。

なお、学校においても、引き続き、春季休業期間中の感染症対策に万全を期すとともに、新学期からの再開に向けて感染症対策を徹底します。

再開後に児童生徒や教職員に感染者が発生した場合は、当該学校は学校医と連携して、学校の全部を2週間の臨時休業にすることを検討します。

引き続き、市民の皆様の安全・安心のために、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、国や県等とも連携し、全力で対応してまいりますので、市民や市内企業の皆様におかれましては、市民生活や企業活動にご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年4月1日

呉市新型コロナウイルス感染症対策本部
本部長 呉市長 新原 芳明